議題26

<table>
<tr><td>区分</td><td colspan="4">□ 新　規　　■ 再提案　（４・４・14　第150回総会；松本市）</td></tr>
<tr><td>種類</td><td colspan="2">■ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの
□ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの
■ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの
□ その他（　　）</td><td>分野</td><td>□ 総務文教
■ 社会環境
□ 経済
□ 危機管理建設</td></tr>
<tr><td rowspan="3">要望先</td><td>□ 国</td><td>担当省庁</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>■ 県</td><td>担当部局課室</td><td colspan="2">健康福祉部　健康福祉政策課</td></tr>
<tr><td>□ その他</td><td>名　　称</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>件名</td><td colspan="4">障がい者の福祉医療費給付事業における県補助の対象範囲拡大について</td></tr>
<tr><td>提案市</td><td colspan="4">松本市</td></tr>
<tr><td>提案要旨</td><td colspan="4">福祉医療給付事業における県補助の対象範囲について、障がい者への現物給付化及び精神入院分の対象拡大を要望する。</td></tr>
<tr><td>提案理由</td><td colspan="4">障がい者の医療費助成制度の窓口無料化や助成対象者の拡充について、関係団体等から強い要望をいただいている。
しかし、現物給付化に伴う国民健康保険の国庫負担金減額措置、健康保険組合の附加給付分の負担等新たな財政負担が生じる。特に国庫負担金の減額調整額が大きく全県的な課題と考える。
障がい児者切れ目なく医療費助成が行えるよう、また障がいのある方の利便性向上を図るため県補助拡大及び、市町村の足並みを揃える環境整備を要望する。</td></tr>
<tr><td>現況及び課題等</td><td colspan="4">【給付実績（20歳以上）】
<table>
<tr><td>年度</td><td>給付額</td><td>県補助金</td><td>市負担額</td></tr>
<tr><td>Ｒ４（決算額）</td><td>806,531千円</td><td>279,131千円</td><td>527,400千円</td></tr>
<tr><td>Ｒ５（見込額）</td><td>815,346千円</td><td>284,598千円</td><td>530,748千円</td></tr>
</table>
【現物給付へ移行した場合の新たな財政負担額】
・概算　157,829千円（令和４年度給付実績から算出）
【精神障害者保健福祉手帳（１・２級）の入院を助成対象とした場合】
・増額分 55,126千円（国保加入者のみを算出）</td></tr>
<tr><td>関係法令</td><td colspan="4">福祉医療費給付事業補助金交付要綱</td></tr>
</table>